

第40回江東区民まつり 中央まつりで

『リサイクルブックコーナー』を 出展します！

令和4年
開催日時
10月15日(土)・16日(日)
午前10時～午後4時

開催場所
木場公園



令和元年度に実施したリサイクルブックコーナーの様子

江東区立図書館では、図書館での取り扱いが終了した小説や実用書、児童書、CDなどを江東区社会福祉協議会に寄贈し、資料の再活用を図っています。江東区民まつり中央まつりでは江東ボランティア・センター主催の『リサイクルブックコーナー』が出展され、1冊20円以上の寄付をもって区民の皆様に寄贈資料を提供します。集められた寄付金は、区内のボランティア活動に活用されます。

今はもう手に入らない掘り出しものの1冊に出会えるかも!?
皆様のお越しをお待ちしております！

※寄付金額は変更になる場合がありますのでご了承ください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、規模の縮小、または中止する場合があります。

【問い合わせ先】江東ボランティア・センター TEL: 03-3645-4087

不要になった本をお譲りください

図書館の所蔵資料の中には、図書館が購入したものの他、寄贈していただいたものが多数あります。ご家庭で不要になった本がございましたら、お近くの図書館へぜひお譲りください。

～特に、過去に出版されて現在購入できない資料や地域の活動記録等の地域資料は、皆様からの寄贈に支えられて貸出ができています。～

※なお、寄贈いただいた資料の取り扱いにつきましては、図書館に一任していただいております。

開館日・休館日のお知らせ

令和4年 10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1															
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31			25	26	27	28	29	30	31
30	31																			

- 全館休館日 ● 古石場・砂町は休館
- 枝川図書館サービスコーナーは、●○が休み
- 深川図書館は改修工事に伴い休館しており、区立亀場公園内(深川1-6-38)に仮設の臨時窓口を設置しています。

特別整理期間(10～12月)

館名	期間
亀戸	10/25(火)～10/27(木)
砂町	11/15(火)～11/17(木)
東大島	12/6(火)～12/8(木)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開館日・休館日や特別整理期間に変更の可能性があります。最新情報は、江東区立図書館ホームページをご確認ください。

江東区立図書館HP▶



これまでに発行したことらいぶ(バックナンバー)は、江東区立図書館ホームページでご覧いただけます。

江東区立図書館情報誌



発行：江東図書館

https://www.koto-lib.tokyo.jp 電話 03-3640-3151 FAX 03-3615-6668

【2022 秋】Vol.24

図書館の仕事 ～障害者サービス編～

江東区立図書館では「視覚障害などで本を読むことが難しい」「体が不自由で図書館に行くことができない」といった、図書館利用が困難な方のため、様々なサービスを行っています。今回のことらいぶでは、そのサービスの一部をご紹介します。

音 訳

本に書かれている内容などを聞いただけで分かるよう、音声化することを「音訳」と言います。江東区立図書館では以下のような活動を行っています。

音訳者養成講座

江東区立図書館登録音訳者として活動していただくための講座です。経験豊かな登録音訳者が講師となり、音訳の歴史をはじめ、発声・発音、図や写真のような文章以外のものを音訳する方法など様々なカリキュラムを実施しています。前期講座・後期講座があり、2年間に渡り学んでもらいます。



対面朗読(対面音訳)

視覚に障害のある方や活字での読書が困難な方を対象に、希望資料を対面で音訳するサービスです。小説や新聞、地図に折り紙の折り方など様々なご希望に対応しています。※写真は、感染症対策のため、部屋を分けて実施しています。



ほかに、
DAISY(本を音声化してCDなどにしたもの)の
製作を行うよ。



DAISYは全国の図書館で
協力して貸出しているんだよ!!

江東区立図書館障害者サービスキャラクター デイジーちゃん

点 訳

文字などを触って読める点字の状態にするのが「点訳」です。江東区立図書館で所蔵している点字図書の貸出や他の図書館から取り寄せての貸出もしています。



宅配サービス

身体障害などにより1人での来館が難しい方のために、宅配による江東区立図書館所蔵資料の貸出・返却サービスを無料で提供しています。外出しなくても図書館の所蔵資料を利用することができます。



マルチメディアデイジー

文字や音声、画像を同時に再生できる録音資料です。江東区立図書館では、識字障害などの方を対象に貸出をしています。また、マルチメディアデイジーを使った上映会も実施しています。



マルチメディアデイジー
画像：ももたろう 文：浜なつ 絵：よこやまようへい 制作：伊藤忠記念財団

その他、江東区立図書館の障害者サービスにつきましては、区報や図書館HP、Twitterなどで随時お知らせしています。

～この一冊に、ありがとう～

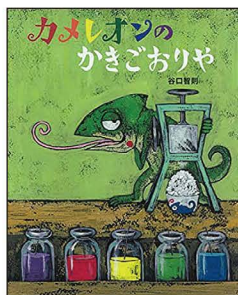
10月27日～11月9日（文化の日をはさむ2週間）は読書週間です。76回目となる今年は「この一冊に、ありがとう」がキャッチコピー。「ことらいふ」でも、この季節恒例となった「読書週間に読んでほしい図書館員のおすすめの本」をご紹介します。今回は幼児からティーンズ向けの図書をピックアップしました。



絵本

カメレオンのかきごおりや

谷口智則／作
アリス館
ISBN: 978-4-7520-0941-2



世にも不思議な「旅するカメレオン」のかきごおりやさん。お店には悩みを抱えた動物たちが集まります。悩みにはカメレオン特製のカラフルなかきごおり！悩みの「いろ」に合わせて自慢のシロップをかけてくれます。カメレオンが会えるいろいろな「いろ」の悩みとシロップ。あるとき、ふとカメレオンは思います。「ぼくって、いったい、なにいろなんだい？」
あなたもカメレオンと一緒に自分のいろを探してみませんか？

てんのくぎをうちにいったはりっこ

神沢利子／作 堀内誠一／画
福音館書店
ISBN: 978-4-8340-1936-0



天を支えるくぎがゆるんでしまい、はりねずみのはりっこが伝説のハンマーでくぎを打ちに行きます。たくさん山や谷を超え、火をふくへびとも戦います。村人たちのためにがんばる姿に、ハラハラしながらページをめくる手がとまりません。まるで民話のようなリズムカルな文章と迫力ある絵で、物語に引きこまれます。小さな体の中に大きな勇気を持っていたはりっこの大冒険物語です。是非ご一読ください。

低学年向け読み物

まじょのナニーさん [8] てんしの花園へようこそ!

藤真知子／作 はっとりななみ／絵
ポプラ社
ISBN: 978-4-591-17132-5



ナニーさんは普通の家政婦ではありません。なんと素敵な魔法を使う魔女なのです。シリーズ8作目の今回は、小学生のヒナノの家にやってきて、1日1回の魔法を使ってワクワクする世界を見せてくれます。父親のことなどでぶんぶんしていたヒナノの毎日が変わっていき、読んでいる人も一緒にやさしい気持ちになれます。

ノンフィクション

マジックに出ってぼくは生まれた

野生のマジシャン HARA 物語
涌井学／著 小学館
ISBN: 978-4-09-227256-9



マジックの魅力に取りつかれ、秘境と言われるような過疎の村から世界を目指した高校生は、いかにしてラスベガスのマジック大会でグランプリを獲得するまでになったのか。小さい頃からの夢がある。だけど現実には厳しい。それでも絶対あきらめたくない。
悩んで苦しんで前に進む高校生の姿は、きっと誰もが共感できるのではないのでしょうか。世界中で活躍するイリュージョニスト・HARAの少年時代をもとに描かれています。是非ご一読ください。

ティーンズ読み物

文豪中學生日記

小手鞠るい／著
あすなろ書房
ISBN: 978-4-7515-3073-3



西城春希は三度のごはんより文章を書くことが好きな中学二年生。1月1日から紀貫之の『土佐日記』のまねをして男の子になりきって日記を書き始めるが思いもよらないトラブルが起こります。
文章を書くということ自体は誰にでもできますが、作家を目指す春希のように「書く」ためのルールや、言葉の選び方をきちんと考えた文章は、本当の強さを持って誰かの心に響くものとなることを考えさせられる一冊です。



わたしの一冊



わたしの1冊は皆様からのおすすめの本をご紹介します。図書館員のおすすめ本とは異なり、こちらは一般向けの本について2名の方からのご投稿を紹介します。

※紹介文はいただいた原文のまま掲載しています。

また、同じ夢を見ていた

●住野よる／著 ●出版社：双葉社 ●ISBN: 978-4-575-52125-2

紹介者：「た」からはじまり、「り」でおわる人

この本を生き方にまよっている人によんでほしいです。この話の中心は「幸せとはなにか？」「人生とは何か」、です。主人公の口ぐせは「人生とは～のようなものよね。」です。同じ小学生にしては例えが上手すぎて感動してしまいました。主人公は両親がはたらいていて学校から帰ってきて、すぐでかけます。遊びにいっていいわけではありません。彼女という名前のノラネコと、あることをきっかけに会った3人の人にあいに行きます。主人公は本をよむのが大好きです。またこの3人のようになりたいと思います。またその3人は「やり直したい」ことがあります。



かがみの孤城

●辻村深月／著 ●出版社：ポプラ社 ●ISBN: 978-4-591-15332-1

紹介者：「あ」から始まり、「か」で終わる人

この本を今生きている人全員に読んでもらいたい。なぜなら、この本は様々な理由で学校に行けない子たちが主役で書かれているが、学校というのは社会と同じだと思うからだ。社会で起こる数々の問題。これは、小さくても、大きくても、人にあたえている影響があるが、なかろうが、それは問題である。そして、その感じ方は人によって違う。だから、誤解やすれ違いは問題よりもっと大きい。ささいなことでも人間関係はくずれてしまうと読んだ。そんな時に手をさしのべられる人になりたいと思った。



紹介していただきありがとうございました。

各図書館（深川図書館除く）に紹介用の原稿用紙を配置しております。皆様のご投稿心よりお待ちしております。

寄付金を活用し購入した本を夏休みに展示しました!!

トーヨーカネツ(株)様より「第三次江東区こども読書活動推進計画」の取組への支援として受けた寄付金を活用し、絵本・児童書・中高生向け図書を購入、各図書館で展示しました。夏休み期間中だったこともあり、多くの子どもたちが興味を持ってくれました。



タンくん（左）とプツリュー（右） © トーヨーカネツ株式会社

開催中
幼児・小学生

読書
スタンプラリー

図書館の本を40冊読んで
プレゼントをもらっちゃおう!

スタンプラリー冊子の配布および景品の交換は
10月31日まで!!
江東区立図書館全館で行っています。
ぜひご参加ください。

